

手話言語学

Sign Language Linguistics

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	今里 典子 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜 5・6 限目 (13:05~14:35)
履 修 条 件	特記事項を参照のこと	募 集 人 員	20 名程度
教 室	大講義室		Tel:078-795-3322 Email: office-gk@kobe-kosen.ac.jp (学生課教務ライン)
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	(1)日本手話の時雨長を言語学の視点から説明できる。 (2) 手話サイナーとしてのろう者と社会との関係について説明できる。 (3)日本手話を使ったコミュニケーションができる。		
授 業 概 要	日本固有の言語である「日本手話(JSL)」とはいかなる「ことば」なのだろうか?言語学の視点から、手話言語と、日本語や英語などの身近な音声言語を比較しその構造や特徴を学ぶ。同時に少数言語使用者としてのろう者への理解を深める。さらに手話を使った基礎的なコミュニケーションが可能になることも目指す。		
授業時間学習以外の学習 (準備学習含む)	本科目の修得には、30 時間の授業の受講と、60 時間の事前・事後自己学習が必要である。事前・事後の自己学習には、学習内容に関する調査報告や関連する指定された動画の視聴レポートなどを含む。実技に関する学習は授業内で指示する。		
授 業 計 画	1	ガイダンス	
	2	聞こえのメカニズム	
	3	少数言語サイナー	
	4	手話言語の習得	
	5	ジェスチャーと手話	
	6	世界の手話	
	7	音韻論	
	8	形態論	
	9	統語論	
	10	手話表現のまとめ	
	11	情報保障 1 社会・技術	
	12	情報保障 2 医療・福祉	
	13	情報保障 3 芸術	
	14	手話ゲーム	
	15	学習の総括	
評 価 方 法	レポート (50%) および演習 (50%) で評価する。		
教 科 書	指定しない		
参 考 図 書	講義中に随時指示する。		
特 記 事 項	授業では積極的に発言する事と、倫理上の問題に留意する事が求められる。必ず基本的手話表現を習得する必要がある。なお、本講義は日本手話学習の経験/レベルが「ゼロ~多くとも半期程度まで」であることを想定しており、履修希望者数(他大学からの希望者を含む)が 20 名を超える場合は初学者を優先することがある。本講義は 2 年開講講義である。		